AWS BuilderCards（第2版）の遊び方

JAWS-UG浜松・静岡 × JAZUG Shizuoka クラウド勉強会 202611

2026年11月7日(土) 16:55-17:05

ハクビー株式会社

代表取締役社長　松永赳尭



自己紹介



創業者の田中（左）と松永（右）

会社概要

商号	ハクビー株式会社
代表者	代表取締役社長　松永赳尭
設立	2026年7月
事業内容	Webアプリの受託開発／情報セキュリティ
住所	静岡県浜松市中央区舞阪町舞阪2701-9 浜松市舞阪支所4階

SECURITY ACTION ★★
セキュリティ対策自己宣言

自己紹介

代表取締役社長　松永 赳尭（まつなが　たけあき）
大手ネットワーク機器メーカーでソフトウェアエンジニアとして、大規模なWebアプリケーション開発を経験後に独立。修士（工学）。犬が好き。JAWS-UG 関係のイベントには3度目の参加。

※ 本日（11/7）サーバー設置場所の設備点検（停電）のため、当社 Web サイトが閲覧できません。

AWS BuilderCards の遊び方を共有したい

苦労したこと

30分

仲間とプレイしようと思ったら、ルールを把握するのに 30 分かかった

公式の手引き

ガイド＋動画

AWS BuilderCards 第2版 日本語版プレイガイド（2026年版）とそこで紹介される動画を見るのがいいが…

今日の発表

10分

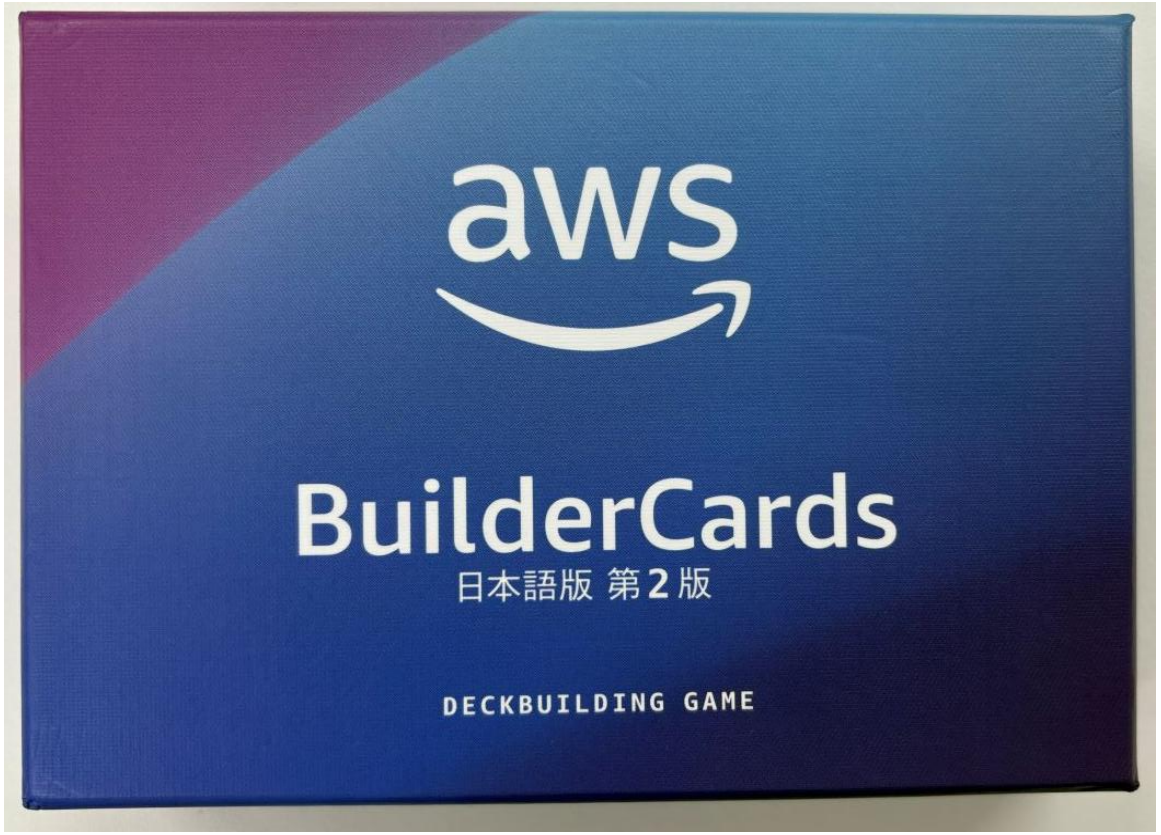
今すぐ始めたい、過去の私のような方へ。**10 分でわかる遊び方**

★★☆☆☆
星2 / 5

「全くの素人がやると、**説明フェイズができず**、QRコードも製品情報らしきページに飛ぶだけで**このカードの組み合わせが何を意味するかはよくわかりません。**」

出典：Amazon.co.jp「AWS BuilderCards 日本語版 第2版」カスタマーレビュー「初心者お断り」（2026年10月19日）

AWS BuilderCards は、AWS を遊びながら学べるカードゲーム



AWS のサービスやアーキテクチャを、
カードを組み合わせながら
楽しく学べる

プレイ人数
2〜4人

ゲームの形式
対戦型のカードゲーム

勝つのは、ポイントを一番集めた人

勝つには？	→	Well-Architected ポイントを最も多く集める
Well-Architected カードを集めるには？	→	クレジットが必要
クレジットを得るには？	→	AWS リソースを表すカードを組み合わせる =>これをデプロイという

参考：AWS BuilderCards 第2版 公式ルール（AWS）、JAWS-UG 日本語版プレイガイド



全員が利用する共通の場所



1 コストなしのカード

左の 4 枚

2 コスト付きのカード

右端の 1 枚

そのほかの共通の場所

3 Well-Architected カード

取得するとポイントになる

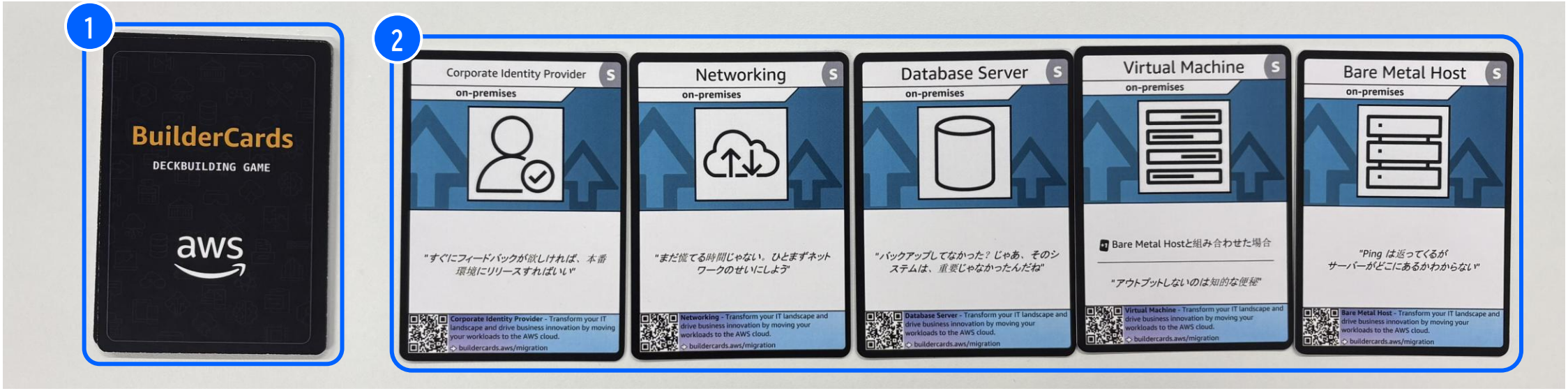
4 補充用の山札

左がコストなし、右がコスト付き

クレジットを得たら、

② か ③ のどちらか一方を取得

各プレイヤーは、自分の山札と手札を持つ



1 山札

自分専用のカードの山。
最初は 12 枚（オンプレ 10 枚＋クラウド 2 枚）

2 手札

山札から引いた 5 枚。
最初はほとんどがオンプレのカード

1ターンは、ビルド・購入・ターン終了の3フェーズで進む

1

ビルド

アーキテクチャをデプロイし、クレジットを得る

2

購入

クレジットを払い、カードを 1 枚買う

3

ターン終了

手札と買ったカードを捨て札に送り、山札から 5 枚引く

Well-Architected カードが売り切れたらゲーム終了、**ポイント最多の人の勝ち**

参考：AWS BuilderCards 第2版 公式ルール（AWS）、JAWS-UG 日本語版プレイガイド



デプロイの例：クラウドのカード2枚で6クレジット



基礎（ECS 2＋RDS 2）
4 クレジット

＋

組み合わせ効果（RDS×ECS）
2 クレジット

＝

このターンのクレジット
6 クレジット

このクレジットで、**Well-Architected ポイントか、コスト付きのビルダーカード**を選んで取得

手札はオンプレから始まり、クラウドへ移行していく



スタート：オンプレカード

Bare Metal Host や Virtual Machine など、オンプレを表す 10 枚

購入と除外



ゴール：クラウドカード

EC2 や Lambda など AWS のサービス。組み合わせるとエフェクトが発動

手札でオンプレよりクラウドの数が上回ったら、オンプレを 1 枚除外できる

参考：AWS BuilderCards 第2版 公式ルール（AWS）、JAWS-UG 日本語版プレイガイド

所感



知っているサービスが出てくる

使い慣れたクラウドサービスが
カードで登場するのが楽しい



知識を活かして高得点を狙える

サービス同士の相性を知っていれば、
組み合わせで高得点を目指せる



クラウドへ移行させる、強い意志

ターンが進むとオンプレが除外される。
ゲームの仕組みそのものがクラウド移行



カードを混ぜるマシンが欲しい

山札が尽きるたびに捨て札をシャッフル。
普通のカードゲームより混ぜる回数が多い

みなさんが楽しい AWS BuilderCards ライフをスタートできますように！



参考文献

- AWS BuilderCards 第2版 日本語版プレイガイド（2026年版）
  AWS-BuilderCards-Japanese/v2/Ja_rules_2026.pdf at main · jaws-ug/AWS-BuilderCards-Japanese



【告知】12月12日（土）、EMのトークライブを開催します



日時　12/12（土）18:00〜19:30
形式　オンライン
費用　**無料**
登壇　井嶋 泰地 × 松永 赳尭

こんな方におすすめ

- 他のEMの考えを聞きたい現役EM
- EMを目指しているエンジニア
- ゴール設定・タスク分解に悩む方
- 期待値調整に苦労している方
- メンバーやリソースの管理に悩む方

お申し込みは connpass から（QRコードでも可）
https://hakubee.connpass.com/event/407717/

※ 本日（11/7）サーバー設置場所の設備点検（停電）のため、当社 Web サイトが閲覧できませんが、connpass でお申込み可能です。



Hakubee